

特別養護老人ホーム 偕生園

1 施設の課題と取組方針

(1) 『心豊かな暮らしづくり』

ア サービスの質の向上

課 題	その人らしい暮らしを支える個別ケアの確立と実践
現 状	平成 29 年度で改築工事が終了し、ハード面は完成した。ソフト面においては、入居者全員の 24H シートの作成は終了し、現場職員を対象にしたユニットケアの基本の理解を図るために園内研修や事業団交流体験研修を行ったが、個別ケアの実践が十分にできていない。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアを実践する根幹である偕生園ユニットケアの実践理念を浸透する取り組みを継続する。 ・研修等の実施により、正規職員及び準職員が 24H シートを作成できるよう取り組む。また、非常勤職員は、24H シートを閲覧し確実にサービス提供できるように取り組む。 ・個別サービス計画に連動している 24H シートを順次見直し、個別ケアの実践に取り組む。 ・ユニットケアを活かした、入居から最期までの支援の充実を図る。

イ 利用者の暮らしの保障

課 題	利用者の安心・安全の確保
現 状	<p>各ユニットにリフト等の福祉機器を導入し、定期的な介護技術研修を開催しているが、介護員の介護技術に差があり、統一した介護が提供されていない。また、そのことにより同じようなヒヤリ・ハット等が発生している。</p> <p>介護場面で、言葉の抑制が見られる為、権利擁護の観点からも見直す必要がある。</p>
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットリーダーを中心に、介護技術研修を定期的に行い、OJT 体制で介護員のスキルを標準化する。 ・リスクマネジメント研修を継続的に行い事故やヒヤリ・ハット報告の検証の徹底と予防策を園全体で周知徹底する仕組みを整える。 ・権利擁護研修を開催し言葉の抑制をなくしていく。

ウ 福祉ニーズに即したサービス提供

課 題	地域における公益的な取組の推進
現 状	毎月 1 回開催している「よりあい喫茶かいせい」は、広報活動および参加者の口コミで順調に参加者が増えているが、地域の福祉ニーズを把握するに至っていない。福祉講演会については、よりあい喫茶の参加者以外にも多くの参加があり、「高齢者介護」の関心が高い。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりあい喫茶かいせい」及び福祉講演会参加者から、地域の福祉ニーズの聞き取り等を行い、より良い公益的な取組に発展させる。 ・「よりあい喫茶かいせい」は、職員の専門性を活かし、充実したプログラムを実施する。 ・福祉講演会は、地域ニーズに即した旬なテーマを選定し開催する。 ・地域交流スペースの活用方法を検討し、地域の拠点として広く地域住民に開放する。

(2) 『活力に満ちた職場づくり』

ア 人材の確保と定着

課 題	準職員及び非常勤職員の確保
現 状	ハローワーク、福祉人材センター、介護初任者実践研修機関、浜田市シングルペアレント事業及び折り込みチラシ等、人材確保の方策を講じているが、全ユニットを充足することができていない。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・就職フェア等、人材確保に繋がるイベントに積極的に参加する。 ・介護初任者研修の実習機関と連携し、人材確保に取り組む。 ・介護未経験者の就労に繋がるよう、職場体験を広報し人材確保に取り組む。

イ 人材の育成

課 題	研修体系の整備と新規（中途）採用職員の育成プログラムの構築
現 状	正規の新規採用職員については、指導育成制度が明確に位置づけられているが、ユニット業務については、ユニット用指導マニュアルがなく、また、ユニットリーダーとしての経験年数が短いこともあり、施設内における OJT が十分に機能しておらず、職員の育成が大きな課題となっている。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現場に活かせる、知識、技術を習得できる園内研修計画を立案し実行する。 ・法人共通のマニュアルを活用し、偕生園の独自性を加味したユニット向け指導マニュアルを作成し、指導体制を確立する。 ・ユニットリーダー研修修了者を各ユニットに 1 名配置できるよう計画的に派遣する。

課 題	専門性の高い認知症ケアを実践できる人材づくり
現 状	認知症介護実践研修「実践者研修」を修了した職員は複数いるが、現場で専門性を生かすことができず、場当たりの対応で、統一した関わりが持てていない。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護実践研修「実践者研修」修了者を各ユニットに1名配置できるよう、計画的に派遣する。 ・各ユニットの認知症利用者の支援方法について、年間を通して記録し、実践報告に繋げる。

ウ 職場環境の改善

課 題	職員が安心して休める職場風土の構築
現 状	年次有給休暇の計画的付与を取り入れ、3日間取得することは概ねできているが、取りたいときに取ることができない。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇の計画的付与の他に記念日休暇等、独自の休みを取り入れる。 ・有給休暇の取得率を向上させる。

エ 業務の改善

課 題	効率的な勤務体制の構築
現 状	職員の欠員に加え、ユニットケア1年目で、効率的な勤務体制が構築できておらず、休憩が取れない場合や勤務時間内に記録ができないことで、時間外勤務が日常化している。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的に業務が行えるよう、勤務形態等の見直しを行い、時間外勤務を減らしていける体制を管理職が中心となり進めていく。 ・ICT等を活用し業務の省力化を検討する。

(3) 『快適な住まいづくり』

ア 計画的な施設・居住環境の整備

課 題	ユニットケアにおける設えの充実
現 状	居住棟の工事期間が2期に渡り、準備期間が短かったことも重なり、共同生活室、居室ともにユニット間に格差があり、個別の入居者に合わせた生活環境がまだできていない。また、環境美化について、施設内は清掃員を配置しているが、施設周りの環境整備計画ができていない。
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・家族等へ働きかけ、自宅で生活しているような快適な個室の設えを整える。 ・共同生活室は食事の場とのんびりゆったりできる空間を分けた設えを整えていく。 ・セミパブリック、パブリックスペースを積極的に活用できるように、利用

	<p>者ニーズ、地域住民ニーズを把握し設備の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周りの環境美化についてのボランティアを開拓する。
--	--

(4) 『安定的な経営の基盤づくり』

ア 収支の安定化

課 題	利用率の維持
現 状	<p>施設入所事業については、嘱託医師との協議の結果、入所前健康診断を入所時健康診断に変更したことにより、退所後の空床期間の短縮を図り、目標利用率を達成する体制を整えた。入院を繰り返す利用者が多いため、目標利用率に達成しない状況がある。</p> <p>短期入所事業については、圏域内においては医療ニーズが高い利用者も受け入れることで、利用率を維持できているが、老人保健施設への入所による直前のキャンセルもあり、利用率を下げる要因となっている。</p> <p>通所事業においては、契約利用者数が少なく、利用する曜日に偏りがあり、新規利用者の参入が難しい現状がある。</p> <p>居宅介護支援事業においては積極的な新規開拓により取り扱い件数は確実に増えているが、実績件数と開きがある。</p>
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所は、入院者数をいかに減らすかを検討していく。 ・短期入所は、居宅介護支援事業所へ定期的に空き情報を提供する。 ・短期入所は、ユニットケアで、より家庭に近い環境で滞在してもらえることを広く広報する。 ・通所介護は、各曜日の利用者数を平準化できるよう予約の受け方を工夫する。

2 中期経営計画数値目標

(1) 利用率

事業名	定員	H28 実績	H29 見込	H30 目標	H31 目標	H32 目標
介護老人福祉施設	70名	96.2%	97.4%	98.0%	98.0%	98.0%
短期入所生活介護	10名	89.8%	92.3%	90.0%	90.0%	90.0%
地域密着通所介護	18名	83.3%	78.8%	85.0%	85.0%	85.0%
居宅介護支援	—	42件/月	49件/月	50件/月	50件/月	50件/月
介護予防支援業務 受託件数	—	6件/月	8件/月	8件/月	8件/月	8件/月

(2) 固定資産購入計画

(単位：千円)

固定資産名称	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	
電動ベッド (更新)	11 台	2,607	8 台	1,775	8 台	1,775
フルリクライニング車椅子 (更新)	3 台	468				
チルト型フルリクライニング車椅子 (更新)	3 台	352				
通所送迎用福祉車両 (更新)	1 台	3,717				
畑整備 (構築物) (新規)		4,104				
カラーレーザープリンター (新規)		130				
オートクレープ (更新)		405				
車いす用体重計 (更新)		378				
フードプロセッサ (新規)		146				
冷凍庫 (新規)		400				
軽公用車 (更新)						850

(3) 修繕計画 (10 万以上～ 大規模修繕を除く)

(単位：千円)

工事名称	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
小破修繕 (1 件 10 万円未満合算額)	119	150	150
デイ エアコン修繕	385		
デイ 浴室排水溝グレーチング	540		
デイ 洗面台修繕	108		
デイ カーテン取替え	411		